大会第1日〔 5月16日(水) 〕 11:45~12:45 ポスター・セッション

P101	関 隆則(気象予報士会)	断熱圧縮による温室効果実験:二酸化炭素と乾燥空気~早く冷える
P102	長谷(健太郎(京大防災研)	のはどっち?~ 日本域における春季の降水特性
P103	辻 宏樹 (東大大気海洋研)	Atmospheric River と切離低気圧の相乗効果に伴う降水と前線に伴
P104	南雲 信宏(気象研)	う降水の違い 凍雨および雨氷の JMA-NHM の再現性と環境場の特徴 -2016 年 1 月 29 日の事例-
P105	佐竹 晋輔 (日本エヌ・ユー・ エス)	気象モデルとオンライン結合した水文モデル(WRF-Hydro)のわが 国への適用
P106	新堀 敏基 (気象研)	高時間分解能 GPV を入力した移流拡散モデルによる火山灰予測
P107	瀬古 弘 (気象研)	ひまわり 8 号高頻度大気追跡風と LETKF を用いて再現した平成 29 年 7 月の九州北部豪雨
P108	熊本 真理子(地磁気観測所)	世磁気観測所の大気電場と Severe Storm の関連について -2017 年 6 月 16 日・2014 年 4 月 4 日・2012 年 5 月 6 日の降雹事 例と 10 分間降水量の関係からー
P109	折笠 成宏 (気象研)	UAE 上空の雲へのフレアシーディング実験
P110	吉田 翔(筑波大院生命環境)	短時間降雨予測に対する Ka バンドレーダの適用性の検討
P111	野口 峻佑(気象研)	成層圏におけるブレッドベクトル
P112	足立 アホロ (気象研)	二重偏波レーダーによる雨滴粒径分布の形状パラメータ推定の試
P113	初塚 大輔(北大院地球環境)	み d4PDF における月降水量極値の再現性と将来変化の 不確実性に関する検証
P114	山菅 大(首都大)	長時間変調パルスレーザを用いた風観測ライダの研究開発
P115	久慈 誠 (奈良女子大)	船舶搭載型全天カメラ観測データ解析による雲量の推定
P116	竃本 倫平 (山口大農)	降雪粒子地上直接観測による GPM/DPR 降水タイプ分類アルゴリズムの地上検証(その2)
P117	関根 広貴(東理大)	南関東における大気エアロゾルの吸湿特性に関する研究
P118	仲吉 信人 (東京理科大)	熱環境が人体生理量・心理量に与える影響把握と関係性調査
P119	守永 武史(MRI)	境界層乱流におけるスカラー濃度変動の対数則
P120	本橋 淳也 (法政大)	十勝平野下層寒気維持の事例解析
P121	柴田 清孝(KUT)	ウィンドプロファイラーによる境界層と対流圏中層の風の日変化
P122	柳瀬 亘(気象研)	とその季節依存 台風の温帯低気圧化後の再発達に関する総観場のコンポジット解 析
P123	松本 昭大 (法政大)	北半球におけるブロッキング現象の季節別長期変動
P124	伊藤 一輝 (筑波大学)	数十年スケールのプラネタリーアルベド変動についての研究
P125	小川 陽平 (防衛大)	都市域における CO ₂ フラックスの長期観測
P126	増田 涼佑(東北大院理)	酸素吸収帯を利用した地上観測による雲物理量推定手法の開発
P127	北川 裕人 (気象大)	2 流近似を基本にした大気放射の2次元計算
P128	高橋 直也(東北大院理)	北太平洋における下層雲と海面水温前線の季節変化と共変動性
P129	塩竈 秀夫(環境研)	気候変動の検出と要因分析に関するモデル相互比較計画 (DAMIP/CMIP6)

大会第2日〔 5月17日(木) 〕11:30~12:30 ポスター・セッション

P201	平田 章子 (岡山大)	冬季の地上降水形態に与える気温と相対湿度の影響
P202	中山 尋斗 (東京学芸大)	2018年1月22日の大雪に先行する気温の低下について
P203	安齊 理沙(筑波大院生命環境)	冬季多降水をもたらす閉塞過程を伴う温帯低気圧
P204	北畠 尚子(気象大学校)	台風 1721 号の進路左側における西日本の強風と強雨に関連したメ ソαスケール構造
P205	池田 翔(東北大院・理)	農作物病害予測情報の支援に向けた週間葉面湿潤度予報
P206	住友 雅司 (気象大)	PV inversion を用いたアンサンブルデータ同化の研究
P207	金子 凌(水理研)	境界条件改良による平成 29 年 7 月九州北部豪雨の再現実験
P208	高橋 暢宏(ISEE)	タイムラプスカメラと XRAIN による対流性降雨の解析
P209	山下 克也(防災科研·雪氷)	長岡市での南岸低気圧通過時の降雪特性調査:2018年1月の事例
P210	篠田 太郎 (名大宇地研)	北陸地方における走査型 Ka 帯偏波レーダを用いた降雪雲の観測と
P211	中島 大岳(古野電気)	固体降水粒子判別への適用可能性 小型 X バンド二重偏波ドップラ気象レーダーのドップラ風速精度 評価
P212	川村 誠治(NICT)	地デジ放送波を用いた水蒸気量推定手法の研究開発 一首都圏展開の現状と今後の展望ー
P213	長谷川 聖矢(首都大都市環 境)	
P214	小西 啓之 (大教大)	GPM 搭載 DPR と地上降雪量の比較検証観測
P215	佐藤 丈徳 (東理大)	2016-2017年の東京スカイツリー観測における新粒子生成
P216	小澤 史周 (理科大)	五日間の温熱生理連続測定によるバイオリズムの四季変化
P217	瀬戸 芳一(首都大都市環境)	地上気象観測値から求めた発散量の精度および鉛直流との関係
P218	北野慈和(電中研)	観測が疎な高標高山岳域において領域気象モデルにて形成される 高風速域の発生機構
P219	門前 由喜子 (学芸大)	海面水温が日本海を通過する爆弾低気圧に与える影響
P220	金崎 拓郎 (横浜国大)	機械学習を用いた台風識別器の開発と精度検証
P221	プリクリル ポール (UNB)	太陽風-磁気圏-電離圏-大気圏結合の状況における温帯低気圧およ び熱帯低気圧の急発達
P222	張 代洲(熊本県立大·環境共生)	Bacterial Aerosol Concentration in Rainwater of Cyclone, Meiyu and Typhoon: Observation at Kumamoto
P223	村山 昌平 (産総研)	スバールバル諸島ニーオルスン基地における大気中二酸化炭素,メ タン,一酸化炭素濃度の変動
P224	瀬口 貴文 (防衛大)	積乱雲の雲頂から飛び上がる巻雲:Jumping Cirrus の観測と定量的 解析による特徴
P225	松枝 秀和 (気象研)	大気中ラドン観測によるデータ選別手法の改良
P226	村上 茂教 (気象大)	全球線形傾圧モデルの作成と気候場解析への応用
P227	釜江 陽一(筑波大生命環境)	東アジア atmospheric river に伴う豪雨の気候学的特徴
P228	田中 実 (無所属)	世界の気温の日較差の大きい地域の分布とその原因の調査
P229	伊藤 享洋(気象庁海洋気象)	北西太平洋域の波候と波高の長期変化傾向

大会第3日〔5月18日(金)〕12:00~13:00 ポスター・セッション

P301	中前	久美(KUT)	極端豪雨の統計的再現期間の不確実性;高知県の場合
P302	鈴木	健斗 (東北大院理)	2016年1月18日の南岸低気圧による仙台平野の降雪事例解析
P303	澤田	壮弘 (筑波大)	降水衛星観測で捉えた冬季温帯低気圧に伴う降水システムの 3 次 元構造
P304	入江	健太 (学芸大)	2016 年台風 10 号と上層寒冷低気圧の間にできた降水帯の解析
P305	大竹	秀明 (産総研)	気象庁数値予報モデルの日射量予測の再検証
P306	大塚	道子 (気象研)	ひまわり8号最適雲解析プロダクトの同化実験
P307	下瀬	健一 (防災科研)	3DVAR+IAU を用いた 2015 年 9 月 6 日に首都圏で発生した竜巻の 風速場解析
P308	山田	芳則 (気象研)	粒子の成長・変換をより自然に表現する氷相バルク微物理モデル の試作(2)
P309	村崎	あつみ(名大宇地研)	Ka 帯レーダーで検出されなかった層積雲の粒径分布の特徴
P310	今井	隆翔(ISEE)	フェーズドアレイ気象レーダによる沖縄海上竜巻の解析
P311	西井	章(高知大院理)	高知大学 MP レーダーによる雨量評価の改善
P312	髙野	眞一(理科大)	広角カメラを用いたバルーン軌道速度測定手法の改良
P313	星野	俊介 (高層台)	GNSS 視線遅延量を用いた顕著現象の事例解析
P314	高野	雄紀(東大大気海洋研)	雲に着目した気象解説に適するひまわり RGB 合成画像の考案
P315	菊池	悠馬 (東京理科大)	クールスポットの暑熱緩和効果に関する実験的検討
P316	河野	恭佑 (千葉工大院)	千葉県谷津干潟周辺における熱環境評価
P317	柴田	清孝(KUT)	四国南西部の夏季最高気温出現時の気候特性
P318	近藤	文義 (海保大)	大気乱流による気圧変動の直接測定
P319	辻野	智紀 (名大宇地研)	数値モデルで再現された第二室戸台風上陸時の衰退プロセス
P320	松下	侑未(北大院環境科学)	d4PDF 将来 4℃上昇実験の各 SST パターンに対する台風通過頻度 の将来変化に関する要因解析
P321	栃本	英伍 (東大大気海洋研)	北西太平洋で発達する温帯低気圧構造の統計的特徴
P322	杉田	考史(NIES)	ー北西大西洋で発達する温帯低気圧との比較ー 西シベリア上空 100 hPa の成層圏メタンの季節変動
P323	財前	祐二 (気象研)	日本から UAE 上空の中部自由対流圏で観測されたエアロゾルの特徴
P324	武	青(乾地研)	Contributions of Climate and Human Factors to Aeolian Desertification in Xilingol Grassland
P325	村田	昭彦 (気象研)	日本の極端降水量の将来変化に対する力学及び熱力学過程の影響
P326	山田	洋平(JAMSTEC)	NICAM を用いた熱帯低気圧の発生分布の再現性向上に向けた 感度実験
P327	近藤	慧史(東京理科大学)	気象モデル WRF を用いた高知県四万十市江川崎における 日本最高気温のメカニズム調査
P328	野坂	真也 (気象研)	オフライン SiB を用いた積雪の再現性とバイアス補正

大会第4日〔 5月19日(土) 〕11:30~12:30 ポスター・セッション

P401	松井	孝夫 (群馬大教育)	小型落雷実験装置の開発と中学校理科での教育実践
P402	大泉	伝 (JAMSTEC)	2014年8月広島での豪雨の再現実験
P403	澤田	洋平 (気象研)	積乱雲スケールの予測可能性改善に向けた ひまわり8号雲域輝度温度同化
P404	木下	直樹(九大・理)	理想降水セルにおける Hallett-Mossop process の効果に関する数値 実験
P405	南雲	信宏 (気象研)	二重偏波レーダーで観測された竜巻・非竜巻事例のフックエコーの 比較
P406	中井	専人(防災科研・雪氷)	光学式ディスドロメーターの特性と全粒子ロギングについて
P407	末澤	卓(首都大院)	Convolution Neural Network を用いた短時間降水予測手法の開発
P408	岩本	尚大(京大生存研)	コヒーレント・ドップラー・ライダーと高解像度都市モデルを用い
P409	中村	祐輔(立正大・院)	た Convective Initiation の検討 ドップラーライダーの移動観測による大気境界層高度および鉛直 風の水平分布把握の試み
P410	松山	裕矢 (九大理)	プラネタリー波の成層圏における反射について
P411	張 f 生)	弋洲(熊本県立大・環境共	On Trans-boundary Airborne Particulate Matters over East Asia: Observations in 2014-2017
P412	伊藤	昭彦(環境研)	北東ユーラシアにおける陸域メタン収支:湿原モデル計算と排出インベントリ解析
P413	小寺 院)	沙也加(北大•環境科学	極域オゾンと中高緯度渦熱フラックスの線形関係に関する考察
P414	渡邉	俊一(JMBSC)	地域気候モデルを用いた台風及び非台風降水の将来変化予測 (その3) — 台風降水の将来変化 —
P415	庭野	匡思 (気象研)	積雪内部における鉛直高解像度不純物移動計算の試み